

学校法人 東京聖徳学園

聖徳フラッシュ



聖徳フラッシュ
第93号
平成29年12月1日
発行
学校法人 東京聖徳学園
〒108-0073 東京都港区三田3-4-28
TEL.03-5476-8811(代)

聖徳学園ホームページ
<http://www.seitoku.jp/>

- 聖徳大学大学院
- 聖徳大学教職大学院
- 聖徳大学
- 聖徳大学短期大学部
- 聖徳大学幼児教育専門学校
- 聖徳大学附属女子高等学校
- 聖徳大学附属女子中学校
- 聖徳大学附属女子中学校
- 聖徳大学附属小学校
- 聖徳大学附属幼稚園
- 聖徳大学附属第二幼稚園
- 聖徳大学附属成田幼稚園
- 聖徳大学附属浦安幼稚園
- 聖徳学園三田幼稚園
- 聖徳学園八王子中央幼稚園
- 聖徳学園多摩中央幼稚園



川並弘純学長(中央左)と、ハノイ大学ルアン学長(中央右)

聖徳大学とハノイ大学が 学術交流協定を締結

INDEX	
学園	7
大学院・大学短大	12
幼児教育専門学校	23
附属女子中・高	47
取手聖徳女子中・高	48
小学校	54
幼稚園	55
インフォメーション	56

より豊かな未来に向け ISO 認証を更新

ISO 9001 (教育の質マネジメントシステム) ISO 14001 (環境マネジメントシステム)

聖徳学園は、平成15年11月に日本の教育機関では初めて品質管理システムのISO9001および環境管理システムのISO14001、両国際規格の認証を同時取得しました。



今年度の正門アーチ

第五十三回 聖徳祭 「革命！集いし輝く女性たち」



野外ステージでのダンス発表

十一月十一日(土)・十二日(日)、第五十三回聖徳祭が行われ、両日で一三、八二六名の来場者を迎えました。今年度の

テーマは「革命！集いし輝く女性たち」です。このテーマには「夢に向かって力強く生きる素敵な女性たちの想い」が一つになったとき、聖徳祭が自分らしく輝ける場所になりたいという願いが込められています。聖徳祭当日は天候に恵まれ、青空の下で行った野外ステージ発表などをはじめ、学生たちによる日頃の研究成果発表が行われ、活気にあふれていました。

総合文化学科の「ときめく♡シリーズ」では、フード・調理プランチの学生が企画・開発し、地元和菓子店「峰月」で商品化した「かけはしまんじゅう」や、「万葉軒」で商品化した「NEWマッシュルーム弁当」



掲載された「かけはしまんじゅう」の新聞記事を持って、PR・販売

した開会式や、卒業生を招いて行った「ハッピーホームカミング」、多くの来場者が参加したクイズラリーなどが好評でした。なかでも一日目に行われた中夜祭では、今年度のテーマである「革命！集いし輝く女性たち」をキーワードにしたスライドショーや、クラブ・同好会の発表や抽選会などが行われ、参加者はとも楽しめた様子でした。



子どもたちでにぎわった企画

聖徳大学・聖徳大学短期大学部とハノイ大学(ベトナム)は、このたび、学術交流に関する包括協定を締結しました。十月二十三日(月)にハノイ大学で調印式を執り行い、「保育の聖徳®」として保育・幼児教育の分野で高い実績を持つ本学と、保育需要が伸長するベトナムにおいて就学前教育に高い関心を寄せるハノイ大学とが、研究者・学生の交流や、共同研究の推進を図ることで合意しました。幼児教育の分野でベトナムと日本の大学が連携プログラムを創設したことはこれまでになく、ベトナムにおける幼児教育の振興促進のため、今後、具体的な連携プログラムを策定していく予定です。



入学式

九月二十三日(土・祝)九時半より、香順メデアホールにおいて、平成二十九年度聖徳大学大学院の秋期入学式が挙行されました。川並弘純学長は告辞の中で「日常生活の延長の中にも学びがある。興味を持つていてこの周辺にある現実にとだけだけ気付き、研究の中に取り込んでいけるかが重要。皆さんの学びが深

平成二十九年度 秋期 大学院入学位記授与式 大学院学位記授与式 短期大学卒業証書学位記授与式

まることを期待します」と話しました。来賓祝辞の後、新入生九名を代表して児童学研究科通信教育課程の宇田川嘉一さんが「子どものために社会貢献ができる研究者として自立し、目標に向かって邁進してまいります。高度の研究能力およびその基盤となる豊かな学識を養うべく研鑽します」と宣誓しました。また、同日十一時から、平成二十九年度秋期聖徳大学大学院学位記授与式、聖徳大学卒業証書学位記授与式、聖徳大学短期大学卒業証書学位記授与式が川並香順記念講堂にて執り行われました。今期卒業・修了したのは、大学院九名、大学八十二名、短大十八名、計百九名。



川並弘純学長は、「皆さんの取得した学位は国際的に通用するもの。自信と誇りを持って社会で活躍してほしい」と激励の言葉を送りました。

松戸学官連携推進講演会

共催

聖徳大学言語文化研究所
松戸市

中高年者の運動と栄養

「骨を意識して、動いて食べて健康に!!」

今年度第三回の言語文化研究所講演会が、松戸市との共催で、十月十四日(土)、本学七号館七二〇一教室において開かれ、百二十名を超える市民が来場しました。



講師の麻見直美氏

健康に関する日常生活、骨の健康に関する栄養素、定期的な体重を測る意味、パーフェクト栄養型の食事、骨粗鬆症の治療時に推奨される食品/過剰摂取を避けたほうがよい食品、骨の健康に関する様々な因子、日常生活と運動などなど、中高年者の健康に関する大切な事項を、一つひとつ丁寧に、詳しいデータを示されながら、わかりやすく話しました。

動いて食べて健康に!!」本研究所が当面の課題としている(危機情報とそれを伝える言語)の人体版です。講師には、運動栄養学・スポーツ栄養学が専門の筑波大学准教授 麻見直美氏が

「骨の健康をテーマとした健康管理が「体」をつくる」という主題の下、骨の健康度チェック、サルコペニア判定、健康作りのための三原則(栄養・運動・休養)、骨の

品、骨の健康に関する様々な因子、日常生活と運動などなど、中高年者の健康に関する大切な事項を、一つひとつ丁寧に、詳しいデータを示されながら、わかりやすく話しました。

大学生記者が取材・編集する紙面「CHIBA University Press」で優秀賞を受賞



泉優香さん、花井直子さん

感想がありました。

千葉県内の大学生の情報発信力やメディアリテラシー能力向上を目的とした「CHIBA University Press」の閉講式および表彰式が九月二十日(水)に開催され、本学が最高位の「優秀賞」を受賞しました。

表彰を受けたのは心理・福祉学部心理学科二年の泉優香さん、花井直子さん、文学部文学科二年の小山詩乃さん。この企画は平成二十四年度にスタートし、

の「一貫性」取材に基づいた説得力のある内容「取り組み姿勢」が評価されました。受賞した学生からは「取材した情報から表現することの難しさを学んだ」などの感想がありました。

審査員の講評では、「内容の一貫性」取材に基づいた説得力のある内容「取り組み姿勢」が評価されました。受賞した学生からは「取材した情報から表現することの難しさを学んだ」などの感想がありました。

久保田健夫氏(聖徳大学

聖徳大学・千葉県教育委員会共催 「特別支援教育フォーラム2017」

十月二十一日(土)、聖徳大学と千葉県教育委員会の共催で、特別支援教育フォーラム二〇一七「特別支援教育のこれから」と題して、本学七号館一階の七二〇一教室を会場に開催されました。



青木隆一氏による基調講演

はじめに、青木隆一氏(文部科学省特別支援教育調査官)による「我が国の特別支援教育の現状と課題」と題する基調講演では、①特別支援教育の現状と課題、②特別支援教育のこれから、③特別支援教育のこれから、④特別支援教育のこれから、⑤特別支援教育のこれから、⑥特別支援教育のこれから、⑦特別支援教育のこれから、⑧特別支援教育のこれから、⑨特別支援教育のこれから、⑩特別支援教育のこれから、⑪特別支援教育のこれから、⑫特別支援教育のこれから、⑬特別支援教育のこれから、⑭特別支援教育のこれから、⑮特別支援教育のこれから、⑯特別支援教育のこれから、⑰特別支援教育のこれから、⑱特別支援教育のこれから、⑲特別支援教育のこれから、⑳特別支援教育のこれから、㉑特別支援教育のこれから、㉒特別支援教育のこれから、㉓特別支援教育のこれから、㉔特別支援教育のこれから、㉕特別支援教育のこれから、㉖特別支援教育のこれから、㉗特別支援教育のこれから、㉘特別支援教育のこれから、㉙特別支援教育のこれから、㉚特別支援教育のこれから、㉛特別支援教育のこれから、㉜特別支援教育のこれから、㉝特別支援教育のこれから、㉞特別支援教育のこれから、㉟特別支援教育のこれから、㊱特別支援教育のこれから、㊲特別支援教育のこれから、㊳特別支援教育のこれから、㊴特別支援教育のこれから、㊵特別支援教育のこれから、㊶特別支援教育のこれから、㊷特別支援教育のこれから、㊸特別支援教育のこれから、㊹特別支援教育のこれから、㊺特別支援教育のこれから、㊻特別支援教育のこれから、㊼特別支援教育のこれから、㊽特別支援教育のこれから、㊾特別支援教育のこれから、㊿特別支援教育のこれから、

久保田健夫氏(聖徳大学

八潮こども夢大学

「八潮こども夢大学 開校式」

今年で四年目となる「八潮こども夢大学」(学長 大山忍 八潮市長)の開校式が、十月五日(木)、やしお生涯学習館の多目的ホールで行われ、同大学の学生となる小学四、六年生、中学一年生とその保護者、八潮市の行政・教育行政関係者、八潮市立小中学校の校長、協力大学の代表などが参加し、会場は満席となりました。

本学からは増井三夫副学長と吉田眞言大学事務局参加が出席しました。

今回参加する学生は、I期三十名、II期二十六名の計五十六名。協力大学は本学を含め六大学で、I期、II期それぞれ四大学を訪問して学ぶ予定。I・II期いずれも本学が第一回目の訪問校として重責を担います。

児童学科教授)は、発達障害の早期介入の重要性について、幼少期環境における脳の遺伝子の変化を紹介しながら提案しました。

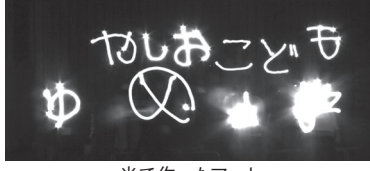
指定討論として、渡辺あけみ氏(千葉県教育委員会特別支援室長)からは、特別支援教育の底上げ方策、特別支援教育の担任の育成方法等について、また、腰川一恵氏(聖徳大学児童学科教授)からは、コーディネーターの質を高める方策、安心心の精度をあげる方策等の質問が出されました。さらに、フロアからも質問が出され、シンポジストと青木氏の間で活発に質疑応答が行われました。



プログラミングに真剣に向き合う学生たち



様々な打楽器の演奏を披露



光で作ったアート

演奏学科の山本真理子教授による「打楽器の不思議」(I期)では、リズムや音のイメージ(打感音)などについて学び、様々な打楽器による演奏に触れたあと、受講生はタンバリンなどに挑戦。楽しいひと時を過ごしました。

保育科の北沢昌代教授による「びかびかお絵かき」(II期)では、学生たちが色とりどりの光源を持って動かしその軌跡(残像)を撮影して表現する「ライトドローイング」を行いました。自分たちが描いて見事に仕上がった数々のアートを、学生たちは、満足そうに表情を浮かべていました。

児童学科の岡本尚志講師による「プログラミングで車型ロボットを動かしてみよう」(I・II期)では、チーム毎に一台の車型ロボットを、PCのプログラミングにより操作し、右左折を繰り返しながらゴールを目指します。PCと真剣に向き合う学生たちの姿は、研究者そのもの。試行錯誤の結果、ロボットがゴールに達すると、各所から大きな歓声が上がりました。

英語で算数を学びます

児童学科の岡本尚志講師による「プログラミングで車型ロボットを動かしてみよう」(I・II期)では、チーム毎に一台の車型ロボットを、PCのプログラミングにより操作し、右左折を繰り返しながらゴールを目指します。PCと真剣に向き合う学生たちの姿は、研究者そのもの。試行錯誤の結果、ロボットがゴールに達すると、各所から大きな歓声が上がりました。

語学教育センターのP・M・ピンセント教授、中里菜穂子准教授による「英語で算数できますか?」(I・II期)では、「Let's say these numbers in English」(英語で数を言ってみよう!)ということ、英語による一億までの大きな数字の表現や、加減乗除の計算式の読み方、分数の表現などについて学びました。



開校式 学生全員で記念撮影



相模台寮で異文化交流
ハワイ大元教授を迎えて交流会を開催

相模台寮で異文化交流 ハワイ大元教授を迎えて交流会を開催

本学協定校ハワイ大学カピオラニコミュニティカレッジの元教授、リンダ・フジカワ先生を学生寮「相模台寮」に迎え、十月二十二日(日)、寮生たちとの交流会が開かれました。



ワ先生を学生寮「相模台寮」に迎え、十月二十二日(日)、寮生たちとの交流会が開かれました。

寮生たちは、初めこそ慣れない英語でのコミュニケーションに戸惑っていたものの、豊かな教授経験を持つリンダ先生の大らかなで優しい笑顔に緊張も解け、言葉を超えて互いの距離が縮まるまでに時間はかかりませんでした。

食後は、リンダ先生によるフラダンスのレッスンが行われ、寮生たちからはダンスのプレゼントもありました。英語・日本語交じりの、楽しく大変有意義な時間が過ごされました。

今年度の書の分野での応募総数は、八千四百五十七点、そのうち入選者は12%の千二十八点、さらに特選に至っては、0.1%の十作品という結果でした。

岩井教授は、二十代より三十三回の入選を重ね、今回めでたく特選の栄誉を得たわけですが、夏に行われた読書法展でも、二度目の準大賞(理事・審査員を対象とした賞)を受けており、岩井教授の作品が日本の書道界で高く評価されている

岩井秀樹教授が 日展で特選受賞



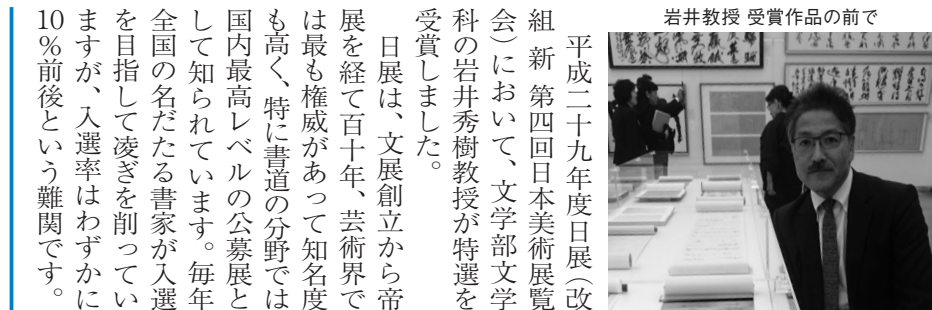
平成二十九年年度日展(改組 新第四回日本美術展覧会)において、文学部文学科の岩井秀樹教授が特選を受賞しました。

日展は、文展創立から帝展を経て百十年、芸術界では最も権威があつて知名度も高く、特に書道の分野では国内最高レベルの公募展として知られています。毎年、全国の名だたる書家が入選を目指して凌ぎを削っていますが、入選率はわずかに10%前後という難関です。

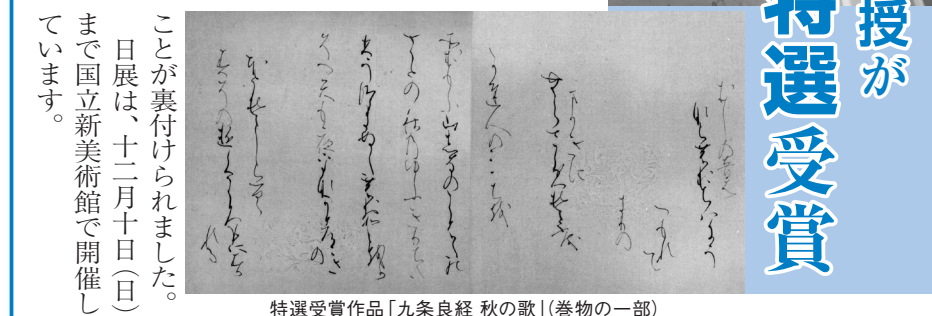
岩井教授は、二十代より三十三回の入選を重ね、今回めでたく特選の栄誉を得たわけですが、夏に行われた読書法展でも、二度目の準大賞(理事・審査員を対象とした賞)を受けており、岩井教授の作品が日本の書道界で高く評価されている

ことが裏付けられました。日展は、十二月十日(日)まで国立新美術館で開催しています。

特選受賞作品「九条良経 秋の歌」(巻物の一部)



今年度の書の分野での応募総数は、八千四百五十七点、そのうち入選者は12%の千二十八点、さらに特選に至っては、0.1%の十作品という結果でした。



岩井教授は、二十代より三十三回の入選を重ね、今回めでたく特選の栄誉を得たわけですが、夏に行われた読書法展でも、二度目の準大賞(理事・審査員を対象とした賞)を受けており、岩井教授の作品が日本の書道界で高く評価されている

ことが裏付けられました。日展は、十二月十日(日)まで国立新美術館で開催しています。

特選受賞作品「九条良経 秋の歌」(巻物の一部)

特選受賞作品「九条良経 秋の歌」(巻物の一部)

特選受賞作品「九条良経 秋の歌」(巻物の一部)

教員として活躍する聖徳大学卒業生 長谷川淑子さんが出身高校で講演



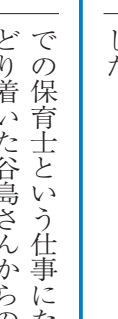
聖徳大学心理・福祉学部社会福祉学科を卒業し、現在養護教諭四年目で千葉市立登戸小学校に勤務の長谷川淑子さんが、自身の出身高校の講師として招かれました。



十月三日(火)、県立千葉女子高等学校(山崎成夫校長、千葉市稲毛区)に平成二十六年年度開設された教員基礎コースの一年生を対象とする「教育体験Ⅰ」の授業

長谷川さんは、教師の魅力や教員の職務内容などについて、自身の体験を交えて講演。学生時代に心がけておくこととして、「黙々と勉強するだけではなく、ポ

ニュージージーランドで保育士になる！ 聖徳大学大学院修了生 谷島直樹さんのお話



語学教育センターでは、九月二十八日(木)の昼休みに、現在ニュージージーランドの保育園で活躍している、聖徳大学大学院修了生の谷島直樹さんをゲストスピー

カーとして招き、お話をうかがいました。

谷島さんは聖学院大学を卒業後、日本の富士見保育所で七年間勤め、その後聖徳大学大学院で修士号を取得。三十歳のときにニュージージーランドに渡航し、現在は現地の保育園専従の保育士として働いています。

当日は、六十名近くの学生や教員が集まり、センターが満員となりました。谷島さんはニュージージーランドでの経験や、海外で保育士と

なる方法について詳しい情報を提供してくださいました。ニュージージーランドで保育士として働くために受験しなければならぬ英語の試験についてと、さらにその一方で、現地に存在するさまざまな異文化を持った人たちが特有の英語を使っているというので、完璧な英語を話す必要はないことなどができました。

試行錯誤しながらいろいろ経験を積み重ねて、海外

トランポリン 世界年齢別大会出場の 松波さんが川並学長を 表敬訪問



本学人間栄養学部一年の松波愛里さんが、第二十五回世界年齢別トランポリン競技選手権大会(於ブルガリア共和国 ソフィア、会期十一月十六日〜十九日)に出場しました。

松波さんは、五月に行われた第四回全日本トランポリン競技年齢別選手権大会(兼世界年齢別選手権大会 日本代表選考会、於前橋市)女子十七〜二十一歳の部で見事優勝し、今回の世界大会出場となりました。

今回のお話は、今後海外で活躍したいと考えている人たちにとって、大きな励みとなりました。学生たちには、英語のコミュニケーション力を身につけ、さまざまな選択肢を増やし、世界で活躍してほしいと思います。

准教授 中里 菜穂子

聖徳大学主催「高校生の体験発表会」を開催

聖徳大学は、十一月十一日(土)、「高校生の体験発表会」を香順メディアホールで開催(後援:千葉県教育委員会、千葉県高等学校長協会)。千葉県内の公立高校十八校、本学附属二校の計二十高校と中学一校(エキシビジョン)が参加し、社会貢献への取り組みに関する発表を行いました。高校側の集計では、来場者は約三百五十名。生徒たちのいづれ劣らぬ見事な発表に、審査員から賞賛の声が、会場からは大きな拍手が送られました。



柏の葉高校の発表



出場者全員で

この企画は、様々な社会貢献活動を進める高校生に対して、大学がその発表の場を提供することで、高生の活動を応援できればと考へ、実施されました。受賞校と発表内容は、表の通り(発表順)。

聖徳大学主催「高校生の体験発表会」各賞受賞一覧

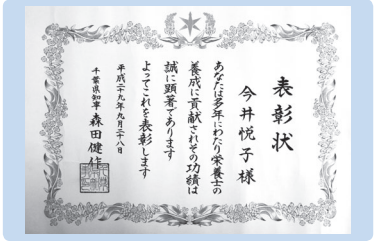
学校名	発表内容	受賞内容
千葉県立船橋豊富高等学校	生徒会・JRCユネスコ部の取り組み	聖徳大学心理・福祉学部長賞
千葉県立我孫子高等学校	マレーシア派遣 成果発表	聖徳大学文学部長賞
聖徳大学附属取手聖徳女子高等学校	取手聖徳児童保育進学コースでの学び	優秀賞
松戸市立松戸高等学校	市松cosmos半径5km内の地域貢献活動	松戸商工会議所会頭賞
千葉県立小金高等学校	私とボランティア	聖徳大学学生部長賞
千葉県立船橋東高等学校	「文武両道」～二兎追って二兎を得よ～	聖徳大学学生部長賞
千葉県立国分高等学校	地域貢献事業等の体験学習～ふれあい交流事業を中心に～	優秀賞
千葉県立鎌ヶ谷西高等学校	Think globally ⇄ Act locally	聖徳大学心理・福祉学部長賞
聖徳大学附属女子高等学校	現代の幼児教育の実情について	聖徳大学副学長賞
千葉県立松戸高等学校	地域貢献活動の軌跡	聖徳大学音楽学部長賞
千葉県立船橋芝山高等学校	科学研究部生物班の活動について	聖徳大学人間栄養学部長賞
千葉県立東葛飾高等学校	体温、血圧、脈拍からみる足浴の効果	聖徳大学副学長賞
千葉県立船橋北高等学校	地域とともに	優秀賞
千葉県立柏の葉高等学校	利根運河の水質と水生生物の調査報告	聖徳大学長賞
千葉県立佐倉東高等学校	家庭クラブ活動	優秀賞
船橋市立船橋高等学校	市立船橋アスリートウォーターの軌跡	聖徳大学看護学部長賞
千葉県立市川南高等学校	保育分野での地域との連携	聖徳大学児童学部長賞
千葉県立松戸馬橋高等学校	小・中学校での学習ボランティアを体験して	聖徳大学児童学部長賞
千葉県立千葉女子高等学校	千葉女子高校 家庭クラブ活動	聖徳大学人間栄養学部長賞
千葉県立柏陵高等学校(パネル発表のみ)	地域と共に…「柏陵高校!」	優秀賞
千葉県立東葛飾中学校(エキシビジョン)	柏を支える後継者を!～柏市と後継者問題～	特別賞

平成二十九年年度 千葉県栄養改善大会における 栄養改善関係功労者知事表彰



栄養学 人間栄養学 今井悦子 教授

多年にわたり栄養士の養成に貢献したとして、九月二十八日(木)、平成二十九年年度千葉県栄養改善大会において千葉県知事より表彰されました。



幼児教育専門学校

聖徳にこにこ祭り (文化祭)開催

十一月三日(金・祝)、爽やかな秋晴れの中、専門学校と三田幼稚園合同の聖徳にこにこまつり(文化祭)を開催しました。当日は、保護者、卒園生、専門学校卒業生、高



校生、園児等、多くの方が来場しました。専門学校一年生は、児童文化Ⅱ、Ⅱ-1・2の授業で学んだ人形劇・紙芝居・手遊びなどを子どもたちに披露す

る「児童文化研究発表会」、児童文化Ⅲ、Ⅲ-2の授業で学んだ折り紙を生かした「作品展」、日ごろの成果を企画に反映した「あそびコーナー」、廊下・壁面・階段等の装飾を行いました。

あそびコーナーでは、学校内でキャラクターを探すスタンプラリーや、ボーリングや宝探しを学生が企画・運営しました。景品をもらった子どもたちが喜んでいる様子うかがえました。人形

劇では、学生たちが前日遅くまで練習をしていたので、当日の発表では子どもたちも楽しめたのではないのでしょうか。二年生も、運営以外に校内の装飾やゲームコーナーな

附属女子中学校・高等学校

関東大会金賞

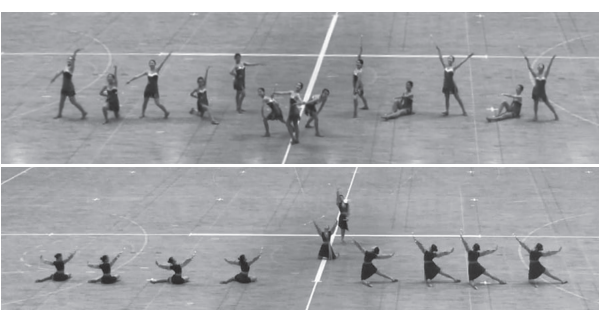
バトン部高校生チーム 全国大会出場決定!!

十月十四日(土)に千葉県ポートアリーナで行われた「第五十二回バントワーリング関東大会」に本校の中高のバトン部が出場しました。

この関東大会は全国出場前のもとも大きな山として、毎年、生徒の前に立ちほだかかります。県大会を勝ち抜いてきた精鋭の中で、上位に食い込むことは容易ではありません。多くの部員が「関東大会は全国大会よりも緊張する」と言います。また今年も、今までの関東で見たことのないチームが他県から出場していたため、

本番で何が起るか分からないうちに、そのための練習は、いつも以上にピリリとした空気に包まれていました。

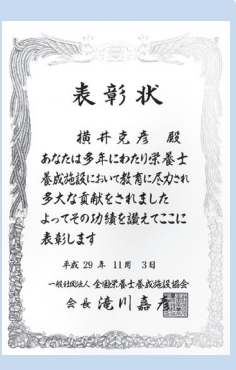
中学生チームも高校生チームも、各々の真剣な思いが衝突してしまい、チームワークに陰りが見えていた時期がありました。コーチの方々からも厳しいお言葉をいただき、大会へのプレッシャーもある中での衝突は、どの生徒にとっても辛いものでした。当日は一人も欠けることなく精一



多年にわたり栄養士養成施設において、養士養成施設において教育に尽力し、多大な貢献をされたことにより、表彰します。



人間栄養学 人間栄養学 横井克彦 教授



全国栄養士養成施設協会会長表彰

多年にわたり栄養士養成施設において、養士養成施設において教育に尽力し、多大な貢献をされたことにより、表彰します。

（金・祝）、一般社団法人全国栄養士養成施設協会会長より表彰されました。

取手聖徳女子中学校・高等学校



去る十月八日(日)・九日(月・祝)、「きらめけ☆青春color」〜輝く虹色パレット〜をテーマに、爽やかな秋晴れのもと、「第三十五回聖徳祭」が開催されました。当日は千三百人近いお客様にご来場いただき、テーマの通りキラキラと輝く生徒たちの姿をご覧いただくことができました。聖徳祭実行委員会のメンバーを中心に、

生徒たちの活躍が光り、生徒たちの生徒たちによる生徒のための文化祭、取手聖徳に入学して良かったと思える文化祭を作りあげることができました。また、今年度は明和会主催の装飾デザインコンテストも行われました。どの団体もオリジナリティあふれる力作で、聖徳祭をより一層盛り上げました。今後も「和」の精神に則り、生徒とともに研鑽をまいります。



附属小学校

心が一つになった聖徳祭

十月二十一日(土)、二十二日(日)に第三十二回聖徳祭が行われました。音楽委員会のファンファーレが会場に鳴り響き、三百三十七名の児童の拍手とともに聖徳祭の幕が上がりました。日曜日には、荒天にもかかわらず、千三百名を超えるお客様にご来校いただくことができました。

子どもたちの生き生きとした輝く瞳が集まるのが附属小の聖徳祭です。本校の総合学習活動の中でも全校で取り組む最も大きな行事の一つで、子どもたちの心の中に深く刻みこま



れたことでしょう。全校ページェント、開校当時から行われている本校の伝統がまた一つ、新たに積み上がりました。

幼稚園短信

聖徳学園三田幼稚園

楽しいもちつき会

毎年恒例のもちつき会を子どもたちはとても楽しみにしています。



もちつきの経験がない子どもは、わくわくどきどきしながら参加し、園庭に用意された臼や杵を見て不思議そうにしています。実際に目の前でおもちになっ

ていくのを見ると「わあすごい」「のびてる」「なんでだろー」「いい匂い」と目を輝かせては、つきあがったもちを見て大喜びしていました。事前にもち米と日頃頂

いている米との違いを知り、期待が持てるようにしていた事で、理解も深まっている姿も見られます。もちつきを満喫した後は、つきたてのもちを給食で頂きます。「やった」「いっぱい食べよう」と友達と話しながらか、好きなおもちをいくつもおかわりする姿があります。また、おもちの出来るまでの行程や、つきあがったもちを丸めたり、ちぎったり、手のひらで丸めたりする様子が印象的なよう

保育参観

聖徳学園八王子中央幼稚園

幼稚園では、学期毎、保護者の方々に子どもたちの幼稚園での様子を見ていただく「保育参観」を行っています。二学期の参観は、制作をしている姿を見ていただく三歳児は、折り紙を使った制作を行っています。教師の説明を聞きながら、途中であきらめず、一人で最後まで折り上げることができるようになってきました。

一生懸命何かに打ち込み、それを達成できた時の満足感。みんなで力を合わせて何かを作り上げる喜び。日々の生活の中で、これらの気持ちを大切にしながら児童の成長を見守っていき

たいと思います。折り紙で折った「家」を制作帳に貼ると、「できた!!」「見て!!」と、大喜びの子どもたちです。入園当初は座っていられたなかった子どもたちも、落ちついて席につき制作に取り組みることができるようになってきています。四歳児は、はさみを使った制作を行います。はさみの扱い方、紙の持ち方が上手になってきている二学期は切り込みの入れ方によって模様が変わる「切り起こし」をします。それぞれに違う模様になることに大変興味を持ち、参観後も自由



作って見せ合い喜んでいる姿が見られます。五歳児は、折り紙を交互に通して模様を作る「ウィピング」に取り組んでいます。とても集中して取り組む姿は、年長児らしい落ち着きぶりです。通し方や、色合いを考え出来る上だと「きれいにできた!!」と大満足の子どもたちです。

参観終了後に行ったアンケートには、「一学期ではできなかった事ができるようになりました」「幼稚園のことを家でも話してくれるようになりました」「友だちと楽しく遊んでいる姿が見ることができてよかったです」などの声をいただきました。

子どもたちの日頃の様子クラスの先生や友達との関わりなど、子どもの成長を見ていただける機会になっています。保育参観です。

四年生対象 ピアサポート、傾聴の技法

教育課程特例校指定を受けて実施している取手聖徳の「女性キャリア」では、職業観・勤労観の育成だけでなく総合的な人間教育、女子教育としてのキャリア教育プログラムを展開しています。さらに社会スキルや心の教育も盛り込もうと、昨年度からいくつかの新プログラムも加えています。先日、その一つ「ピアサポート」の授業を四年生対象に実施いたしました。

「ピアサポート」と言っても、ピアサポーターの育成を目的とするものではなく、その中心スキルである傾聴の技法を知り、日頃の友人との会話や、とりわけ相談を受けたときなどに生かされることをねらいとしたプログラムです。生徒からは、「最近友人から相談を受けることが多く、そのたびに力になりたいと思っていたけれど何をしたらいいかわからなかった。今回話を聞

けて良かった」「相手の話を最後まで聞いてから思ったことを言うようにしたい。相手の気持ちを察することができるようになりたい。」などの感想が聞かれました。「女性キャリア」のプログラム例やそのねらいについては本校ホームページにも掲載しております。トップページのバナー「女性キャリア」をクリックして、活動の内容や様子をぜひご覧ください。

「いかのおすし」 防犯訓練

幼稚園では年に一回「防犯訓練」を行っています。

当日はまず、保育室や園庭で遊んでいる最中に不審者(警察の方)が侵入してきた設定で、訓練をします。子どもも教職員も訓練があることは知っていますが、実際に訓練が始まると、緊張感が走り、楽しく遊んでいた子どももさっと静かになり、教師の誘導で安全な場所へ逃げます。その後遊戯室に集まり、警察官の手作りの車から不審者が代表の子どもに声を掛け、連れ込もうとする設定で大きな声を出して助けを呼ぶ訓練をしたり、ビデオを見せていただきます。

また、子どもたちに「知らない人にはついていかない、知らない人の車にはのらない、知らない人は」

笑顔いっぱい! 楽しかった みんなの運動会

九月三十日(土)、秋晴れの空に万国旗が美しくはためく中、秋季大運動会が開催されました。「野外でできる総合的な表現活動」のねらいのもと、各学年の発達段階に合わせた遊戯や競技を行いました。

満三歳児は多くのお客様に圧倒され泣いてしまう園児がいましたが、小さな身体を思いきり動かして参加し、温かい拍手をいただきました。三歳児は様々な運動あそびを通じて、身体を動かす



うになっても、僕は強いからやっつけられるよ!」と言っている子どももいますが、訓練を経て、大人の力の強さが分かり、「大きな声を出すとみんなが助けてくれるんだよね」と言うようになります。担任たちは身を守るための手段だけではなく、「必ず先生やまわりの大人が守ってくれる」という安心感を持つことも知らせるようにしています。

今年度も訓練を計画しています。いつ起こるか分からないことなので、有意義な訓練になるように計画していきたいと思えます。



楽しさを感じられるようになりまし。四歳児は友達と心と力を合わせる事、話を聴く事やルールを守る事の大切さに気づくことができ

ました。五歳児は競争心の高まりとともに、一人ひとり考えながら友達と協力する気持ちが育ちました。マ

園外保育

十月十九日(木)五歳児組の園児が遠足に出かけました。

場所は「葛西臨海水族園」です。前日から心配をしていた天気は園児たちが作ったてるてる坊主の効き目もむなしく、雨天での実施となりました。

幼稚園に保護者の方と登園し、はとバスに乗って出発です。バスの中では歌を歌ったり、クイズをしたり、バスガイドさんの話を静かに聞くなど、楽しい中にもしつ

かりと五歳児組らしい姿も見られました。水族園に到着すると準備していた色とりどりのレインコートを着て、バスを降り歩きました。雨が降っていても、嬉しそうに歩く園児の笑顔が印象的でした。館内に入ると、様々な海の生き物を見ることができ、「この魚知ってる」「きれいな魚だよ」など、自分が感じたことを先生や友達と言葉を交わしながら、順路に沿って見学をしました。多くの幼稚園児、小学生な



なりました。園児たちは身体を動かす喜びを味わい、「やればできる」と身をもって知り、一段と成長したことでしょう。また、安全に気持ちよく運動会が行えるよう、全教職員で人工芝のグラウ

ンド整備に努めました。今後も園児たちが主体的に笑顔あふれる経験ができるよう環境づくりや保育内容を考え、邁進していこうと思えます。

日本のうたを 愉しみました

十月五日(木)に、第十四回「SEITOKUオープン

キンダーワールド」が聖徳大学短期大学部保育科の小畑秀樹先生を講師に迎え、行われました。



SEITOKUオープンキンダーワールドでは、未就園児の親子でも楽しめる活動を毎回行っております。今回は、未就園児の親子と在園児の保護者に参加いただき、「日本のうたを愉しみましょう」というテーマで、小畑先生がピアノと伴奏の板倉寿美子さんの伴奏に合わせ、たくさん

の日本のうたを歌って聞かせてくださいました。前半は、幼稚園の全園児も一緒に参加し、「まっかな秋」や「さっちゃん」「しゃぼん玉」といった童謡や唱歌、後半は、歌曲をうたってくださいました。そして最後に全

思い切り体を動かしてあそぶの楽しさ

聖徳大学附属浦安幼稚園では、三年前から「子どもが遊びたくなる環境とからだづくり」運動遊びを通して「をテーマに園児たちが自ら体を動かし、いろいろなことに挑戦する心を育む運動遊びと環境づくりに取り組んでいます。

本園ははだし教育で、一年中ははだしに草履、ビーチサンダルで過ごす園児もいます。足の指で蹴り出す力や物を掴む力も付いてきています。

昨年バランス感覚を育てる遊具「ゆらゆらロープ」を一年、遊び方にも変化



が現れてきました。当初は、ゆらゆらロープに乗ってからだを揺ら揺らすだけで、新しい遊び方に変化してきました。年中、年

長の園児の中に「先生!見て!!!」上にタッチできたよ!得意満面の笑みで呼びかけるその姿は、足の親指と人差し指でロープを挟み両手を使いロープ登りをする園児でした。楽しんで遊ぶ事で基礎体力も培われ、創造的に遊びを広げていく力も育まれています。

「東京聖徳学園創立八十周年記念事業募金」寄付者芳名一覧

平成二十九年九月〜十月「寄付分」

ご協力ありがとうございます

●取引業者関係 二〇、〇〇〇円 花喜園 代表 花木 常明 様 株式会社丸協 代表取締役 新堀 信永 様 一〇、〇〇〇円 株式会社エコマックス 代表取締役 高橋 栄二 様 (二五〇、〇〇〇円)	●大学後援会関係 八〇〇、〇〇〇円 名倉 甘琳 様 二〇、〇〇〇円 原田 正夫 様 (一〇〇、〇〇〇円)	●附属女子中学校・高等学校関係 一〇〇、〇〇〇円 林 憲民 様 一〇、〇〇〇円 青木 修一 様 小川 一 様 様(二〇、〇〇〇円) 様(四〇、〇〇〇円)	五、〇〇〇円 松本 信一 様 (二〇、〇〇〇円)	●匿名希望者合計 (四六八、〇〇〇円) ※()内は累計額	合計 四八件 一、五〇三、〇〇〇円 累計 三、四六二件 七六五、九二六、三九一円
--	---	---	--------------------------------	-------------------------------------	---

募金だより

募集終了まで、あと4カ月

今年で五年目を迎えた「学園創立八十周年記念事業募金」は、募集期間残り四カ月(平成三十年三月三十一日終了)となりました。平成二十五年四月に開始し、皆様から多くのご支援を賜りました。いただきましたご厚志を資金の一部として、施設設備の充実や教育環境の整備、奨学金の創設など、多くの事業が推進されました。その様子を「募金だより」を通じ、過去二十五回にわたりお伝えして参りましたところ、寄付者の皆様、聖徳フラッシュ読者の皆様からあたたかい反響をいただきました。お電話をいただくことも度々。整備が行われた場所を実際に訪れた方からは「記事の場所、見てきたよ。使いやすくなったね。」とお声がけをいただきました。(過去の記事については、学園ホームページにあります「聖徳フラッシュ」バックナンバーよりご覧いただけます。)

八十周年記念事業のご紹介も残りわずかとなりますが、いただきましたご支援について、最後まで丁寧にお伝えして参ります。引き続き、皆様からのご協力をお待ちしております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

募金はどんなことに使われているの?
～学びの環境を支える施設・設備編～
疑問にお答えすべく、大学のマスコットであるファイ&リンが調査にむかいました。

調査ファイル / 防災備品の整備

この建物は、見たことがあるぞ。でも中は何が入っているんだろう?
防災倉庫だよ。中には、災害時に備えて、水や食料、寝具グッズや毛布などがたくさん保管されているよ。

平成29年度募金チラシは施設設備(一部抜粋)の特集です

●ご寄付のお申し込みについて●
お電話またはホームページからお申込みください。募金係より募金趣意書、払込用紙をお送りいたします。

●お問い合わせ先●
東京聖徳学園創立80周年記念事業募金係 TEL.047-365-1111(代) 聖徳 募金
ホームページアドレス <http://www.seitoku.jp/bokin/> 検索

大学後援会支部総会・保護者会 活動報告

今年度の支部総会・保護者会が六月から十一月にかけて各地で開催され、大学および短期大学の多くの保護者の方へ出席をいただきました。

後援会支部総会および保護者会は、北海道から九州・沖縄まで全国十一支部で毎年行われます。午前中の支部総会では、学長講話や卒業生による体験発表、午後の保護者会では教員との個別面談が行われています。体験発表は、卒業生の生の声を聴くことができると、毎年多くの反響をいただいている企画です。今回は十

月に実施された四つの支部総会・保護者会の中から、二名の卒業生の発表をご紹介します。

山崎芽依さん(茨城県支部、平成二十九年三月・児童学科小学校教員養成コース卒業)は結城市の公立小学校で四年生の担任としてお勤めです。「聖徳」での授業がいかに現在の仕事で活かされているか、またシリーズコンサートや海外研修



山崎芽依さん

等本物にふれる機会から、ものの考えかた、価値観を育てることができたことなどを話されました。最後に、家族の方々が、特別なことではなく、当たり前のように日常のことをサポートしてくれていたこと、自分がやりたいこと、さらに「聖徳」の方針を理解して応援してくれていたことが、とてもありがたかったと述べられました。

外間夢伽さん(東京地区支部、平成二十九年三月・児童学科児童心理コース卒業)は、現在、本学附属第二幼稚園で五歳児の担任をしています。在学中の学びとして、保育者の基礎となる「専門知識」、実習の体験を通して「専門知識」の必要性を実感し、部活動で多様な価値観や環境の人の協働性やチームワークを学んだことを挙げられました。



外間夢伽さん

「専門知識」、実習の体験を通して「専門知識」の必要性を実感し、部活動で多様な価値観や環境の人の協働性やチームワークを学んだことを挙げられました。就職活動では、しっかりと自分と向き合うことが大切であり、先生方やキャリア支援課でのサポートについて語られ、後輩へのメッセージとして、「今学んでい

聖徳大学陸上競技部 監督の部屋 25

聖徳大学陸上競技部 第23回 関東大学女子駅伝対校選手権大会 第19位

全日本大学女子駅伝対校選手権大会の地区予選を兼ねた第23回関東大学女子駅伝対校選手権大会が9月24日(日)、印西市の千葉ニュータウン周回コース(6区間、30.6キロ)で開催され、熱戦が繰り広げられました。



1区

2区

3区

4区

5区

6区

本学は4年生不在のチームで臨み、昨年を下回る厳しい結果となりましたが、ゴールまで諦めずに襷を繋ぎ切りました。

大会結果はホームページをご覧ください。
詳細は聖徳大学陸上競技部 HP <http://www4.hp-ez.com/hp/seitokuriku/page6>

今後は捲土重来、全日本出場を目標に日々精進していく所存です。相変わりませぬご支援、ご協力のほどお願い申し上げます。
文末ながら、当日は休日にもかかわらず、多くの関係各位にご足労いただき、選手ひとりひとりに熱いご声援をいただきましたことを心より感謝申し上げます。
(陸上競技部監督 佐藤 信春)

平成30年度 大学院(春学期入学)入試日程

聖徳大学大学院通学課程[共学/昼・夜開講]
<博士後期課程>

Table with columns: 入試区分, 日程, 願書受付期間, 入試日. Includes internal recommendation and social entry exams.

<博士前期課程>

Table with columns: 入試区分, 日程, 願書受付期間, 入試日. Includes internal recommendation and social entry exams.

<修士課程>(看護学研究科)

Table with columns: 入試区分, 日程, 願書受付期間, 入試日. Includes general and social entry exams.

<専門職学位課程>(教職研究科)

Table with columns: 入試区分, 日程, 願書受付期間, 入試日. Includes internal recommendation and social entry exams.

平成30年度 大学院(秋学期入学)入試日程

聖徳大学大学院通学課程[共学/昼・夜開講]
<博士後期課程>

Table with columns: 入試区分, 日程, 願書受付期間, 入試日. Includes internal recommendation and social entry exams.

<博士前期課程>

Table with columns: 入試区分, 日程, 願書受付期間, 入試日. Includes internal recommendation and social entry exams.

<修士課程>(看護学研究科)

Table with columns: 入試区分, 日程, 願書受付期間, 入試日. Includes internal recommendation and social entry exams.

<専門職学位課程>(教職研究科)

Table with columns: 入試区分, 日程, 願書受付期間, 入試日. Includes internal recommendation and social entry exams.

平成30年度 入試日程

聖徳大学(女子)/聖徳大学短期大学部(女子)<AO入試>

Table with columns: 入試区分, 日程, 事前エントリー受付期間, 事前相談の申込み, 出願, 面接. Includes AO and standard entry exams.

※看護学部はAO入試を実施しない。

<社会人入試・アスリート入試・帰国子女入試>

Table with columns: 入試区分, 日程, 願書受付期間, 入試日. Includes social, athlete, and returnee exams.

※看護学部は実施しない。

<留学生入試>

Table with columns: 入試区分, 日程, 願書受付期間, 入試日. Includes international student entry exam.

※看護学部は実施しない。

<編入学・専攻科入試>

Table with columns: 入試区分, 日程, 願書受付期間, 入試日. Includes transfer and specialized course exams.

※専攻科入試は、一般入試、内部推薦入試のみ実施する。

<一般入試>

Table with columns: 入試区分, 日程, 願書受付期間, 入試日. Includes general entry exams for various departments.

聖徳大学幼児教育専門学校(女子)<前期・後期入試>

Table with columns: 入試区分, 日程, 願書受付期間, 入試日. Includes entry exams for the preschool education school.

Table with columns: 入試区分, 日程, 願書受付期間, 入試日. Includes AO and general entry exams for affiliated schools.

聖徳大学附属女子中学校・高等学校

Table with columns: 対象, 入試区分, 願書受付期間, 入試日. Includes entry exams for affiliated middle and high schools.

聖徳大学附属取手聖徳女子中学校・高等学校

Table with columns: 対象, 入試区分, 願書受付期間, 入試日. Includes entry exams for affiliated middle and high schools in Tori.

聖徳大学附属小学校(共学)

Table with columns: 入試区分, 願書受付期間, 入試日. Includes entry exams for the affiliated elementary school.

★詳細は、各校の募集要項でご確認ください。

学校説明会関係行事のご案内

通信教育部(大学院・大学・短期大学部 共学)

お問い合わせ: 047-365-1200(直通)

聖徳大学通信教育部
入学説明会のご案内

聖徳大学通信教育部では、大学院・大学・短期大学部すべてにおいて、入学説明会を開催しています。...

本学キャンパスでの説明会では、在学生・卒業生の体験談、スクーリング模擬授業、キャンパスツアーなども実施しています。...

◇ 聖徳大学主催 入学説明会

Table with columns: 開催日, 開催地, 開催時間(予約不要), 開催場所. Lists university-wide explanation events.

◇ 聖徳大学主催 入学説明会(個別相談)

Table with columns: 開催日, 開催地, 開催時間(予約不要), 開催場所. Lists individual consultation events.

※お車でのご来場はご遠慮ください。 ※個別相談会は終了時間の30分前までに会場へ入場ください。...

※詳細につきましては、各校にお問い合わせください。

聖徳大学幼児教育専門学校(女子)

お問い合わせ: 03-5476-8811(代)

ショートキャンパス ▶平成30年1月28日[日] ▶2月10日[土]

ナイトキャンパスツアー ▶12月12日[火] 18:30~ ▶平成30年1月10日[水] 18:30~

入試必勝講座 ▶平成30年2月3日[土]

聖徳大学附属女子中学校・高等学校

お問い合わせ: 0800-800-8442(入試広報室直通)

[高校] 入試制度説明会 ▶12月9日[土] 9:30~ 特待特進入試対策講座(5科入試~公立そっくり問題~)

[中学] 学校説明会 ▶12月16日[土] 9:30~ (ミニ説明会) ▶平成30年1月7日[日] 9:30~

[中高共通] 進学相談会 ▶12月23日[土・祝] 9:30~ ▶12月24日[日] 9:30~

[高校] 音楽科冬季講習会 ▶12月25日[月]~27日[水] 9:00~

聖徳大学附属取手聖徳女子中学校・高等学校

お問い合わせ: 0297-83-8111(代)

入試説明会 ▶12月9日[土] 13:30~15:30 [要申込] 音楽講習会 ▶12月25日[月] 8:45~12:35 [要申込]

信州佐久 春日温泉 自然体感リゾート 長野県佐久市春日 2258-1 かすがの森

ご予約はお電話にて 電話: 0267-52-2111 宿泊料金・プランはホームページをご覧ください。 http://www.kasuganomori.com/

SAKU BLOOM イルミネーション2017のご紹介. 開催日時: 2017年10月28日(土)~2018年1月12日(金). 開催場所: JR北陸新幹線 佐久平駅周辺. 今年のテーマ: 『スターリング・フラワー・ガーデン~星降る街 未来の花が開く街~』

昨年とは少し趣を変え、花と星空をイメージした、光の花壇が出現。地上6メートルのコーン状のツリーからは、リボン状の光が流れ、そこにアートフラワーが飾られているという華やかさ。...

読者の声

ご意見・ご感想の宛て先

学園広報紙聖徳フラッシュをお読みいただきありがとうございます。今後も内容の充実に向けてまいりますので、ぜひ皆さまのご意見・ご感想をお寄せください。...

学校法人 東京聖徳学園

〒108-0073 東京都港区三田3-4-28 TEL.03-5476-8811(代)

聖徳フラッシュ 第93号 発行人/川並弘純 編集/総務課

この印刷物は大豆油を主成分とした環境にやさしいインクを使用しています。 17.12.1 re (13.9)

セイトクの派遣会社だから安心

派遣登録募集中!! 幼稚園教諭、保育士、一般事務 お気軽にご連絡ください

セイワコーポレーション 東京都港区虎ノ門1-1-20

0120-525-126 般 13-300726 13-ユ-300913